

御中

仕 様 書

キュートFP防水システム

FP-100 工法

(コンクリート・モルタル・普通合板)

- 表 紙
- 工 程 表
- 材 料 説 明
- 注 意 事 項

九州塗料工業株式会社

工 程 表

工 程	内 訳	商 品 名	塗布量 kg/m ²
1.下地処理（コンクリート・モルタル・普通合板）	(1) 浮陸部調整 (2) 清掃・洗浄・乾燥		
2.プライマー	(1) ウレタン樹脂塗料塗布	パイオニヤシーラー #100	0.3
3.パテ埋め	(1) クラック・欠け・凹部処理	Qコートパテ E	
4.下塗り	(1) ポリエステル樹脂塗布	PC-640FXT	0.8
5.ライニング	(1) ポリエステル樹脂塗布	PC-640FXT	0.6
	(2) ガラスマット敷設	ガラスマット#450	0.45
	(3) ポリエステル樹脂塗布	PC-640FXT	0.6
6.中塗り	(1) ポリエステル樹脂塗布	PC-640FXT	0.5
7.研 磨	(1) 全面サンディング		
	(2) ガラスマット毛羽取り		
8.トップコート	(1) 着色ポリエステル樹脂塗布	PC-855TP	0.4

※ 下地処理 : モルタルは金ゴテ平滑仕上げを標準とし、十分に乾燥（含水率9%以下）させます。

※ 角処理 : 外Rは6R以上に、内Rは10R以上に処理してください。

※ 排水勾配 : 勾配は1/100以上とし、水がたまることなく速やかに排水できるようにしてください。

材料説明

1. プライマー

◎ 商 品 名	パイオニヤシーラー #100
◎ 成 分	湿気硬化型ウレタン樹脂塗料
◎ 使 用 箇 所	コンクリート・モルタル・コンパネ部
◎ 液 性	一液型
◎ 使 用 方 法	原液のままローラー刷毛等にて塗布します
◎ 商 品 規 格	14 kg 3.5 kg

2. パテ

◎ 商 品 名	Q コートパテE
◎ 成 分	ポリエステルパテ
◎ 使 用 箇 所	クラック・欠け・凹部処理・目詰め
◎ 液 性	二液型
◎ 使 用 方 法	硬化剤を 0.6~2.0%練りこみヘラ等を利用して欠損部を埋めます
◎ 硬 化 時 間	2~5 時間
◎ 商 品 規 格	19 kg 4 kg

3. 下塗り・中塗り・ライニング用樹脂

◎ 商 品 名	PC-640FXT (S夏用・M春秋用・W冬用)
◎ 成 分	弾性不飽和ポリエステル樹脂
◎ 使 用 箇 所	下塗り・積層・中塗り用
◎ 液 性	二液型
◎ 使 用 方 法	硬化剤を 0.6~2.0%添加しよく攪拌後使用します
◎ ゲル化時間	30~60 分
◎ 硬 化 時 間	3~5 時間
◎ 商 品 規 格	20 kg

4. トップコート

- ◎ 商 品 名 PC-855TP (骨材なし) PC-855TP-NS (骨材入り)
FP 各色 (FP グレー、FP ダークグレー、FP モスグリーン、FP グリーン)
(SS 真夏用・S 夏用・M 春秋用・W 冬用)
- ◎ 成 分 不飽和ポリエステル樹脂塗料
- ◎ 使 用 箇 所 仕上げ
- ◎ 液 性 二液型
- ◎ 使 用 方 法 硬化剤を 0.6~2.0% 添加しよく攪拌後、ローラー刷毛等にて塗布します
- ◎ ゲル化時間 10~30 分
- ◎ 硬 化 時 間 3~5 時間
- ◎ 商 品 規 格 20 kg 4 kg

5. 硬化剤

- ◎ 商 品 名 カヤメック・パーメック
- ◎ 成 分 メチルエチルケトンパーオキサイド (55%)
- ◎ 商 品 規 格 5 kg×2 (ケース) 1 kg×10 (ケース)

6. ガラスマット#450

- ◎ 商 品 名 チョップドストランドマット
- ◎ 商 品 規 格 30 kg=1.04×64m (片耳付き)
30 kg=1.00×64m (両耳付き)

注 意 事 項

1. FRP ライニングは下地の条件によって性能が大きく左右されます。
 - ①下地表面が湿った状態での施工は出来ません。含水率 9%以下に乾燥させてください。
新設コンクリートの養生期間目安は 30～40 日です。
 - ②下地表面の油分、ホコリ等はあらかじめ除去してください。
新設コンクリートの場合、表面メンテナンスをワイヤーブラシ等で必ず除去してください。

2. プライマー
 - ①高温（30℃以上）高湿度（80%以上）で使用の際は 3 時間以内に次工程に進んでください。
 - ②プライマー塗布乾燥後、2～24 時間以内に次工程に進んでください。

3. 下塗り・中塗り・ライニング
 - ①ポリエステル樹脂は季節に応じた適切なものを使用します。（S夏用・M春秋用・W冬用）
 - ②硬化剤は気温に合わせて規定量添加します。
 - ③FRP ライニングの性能は、完全な含浸と脱泡及び樹脂の完全な硬化で始めて発揮されます。
 - ④ガラスマットのラップは 50 mm以上重ねます。
 - ⑤施工間隔があいた場合はサンディングして次の工程へ進んでください。

4. トップコート
 - ①トップコートは季節に応じた適切なものを使用します。（SS真夏用・S夏用・M春秋用・W冬用）
 - ②硬化剤は気温に合わせて規定量添加します。
 - ③夏場など直射日光が当たる部分では、空気乾燥剤が浮かずべたつきが残ることがあります。このような場合には直射日光が当たる時間を避ける・シートで日陰にする等の措置をとってください。

5. 脱気筒・脱気盤
塗膜の膨れを軽減するため、必要に応じて脱気筒・脱気盤の設置をおすすめします。設置目安は勾配の高い方へ 20～50 m²に 1 個取り付けます。（プライマーを塗る前に設置）

6. 気象条件
 - ①気温が 5℃未満の時は施工しないでください。
 - ②強風又は高温多湿の時は施工しないでください。
 - ③降雨、降雪時またはそれが予想される場合、もしくは降雨、降雪後で下地が未乾燥の場合は施工しないでください。
 - ④気象条件・気温・施工面温度等に適した季節タイプを使用し、硬化剤の量を調整してください。

7. 火気厳禁・保管注意

- ①周囲での火気使用は厳禁です。万が一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を使用してください。
- ②直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
- ③多量の硬化剤入り樹脂は容器内で高温発熱し発火する恐れがあるので、容器に残った樹脂には必ず注水してください。
- ④パイオニヤシーラー #100 は危険物の第4類 第1石油類に該当します。
- ⑤Q コートパテ E は危険物の第2類 引火性固体に該当します。
- ⑥PC-640FXT、PC-855TP は危険物の第4類 第2石油類に該当します。
- ⑦硬化剤は危険物の第5類 第2種自己反応性物質に該当します。金属との接触を避け、衝撃を与えないようにして下さい。火気に注意し、直射日光があたらないよう冷暗所に保管してください。
- ⑧ガラスマットが湿気を帯びていると樹脂が硬化不良を起こします。雨等に濡れない乾燥した場所に保管してください。
- ⑨使用後の残液は、いずれも有機溶剤作業の関係法令、消防法に従って処理してください。

8. 発火注意

塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。多量の硬化剤入り樹脂は容器内で高温発熱し発火する恐れがあるので、容器に残った樹脂には必ず注水してください。

9. 保護具着用

作業に適したヘルメット、保護メガネ、長袖衣服、ゴム手袋、有機溶剤用防毒マスク等を着用してください。

10. 応急措置

塗料・樹脂・硬化剤が皮膚に付着した場合、直ちに水でよく洗い流してください。炎症が生じた場合は医師の診断を受けてください。誤って目に入ってしまった場合は、直ちに大量の洗浄な水で15分以上洗眼し、必ず眼科医の診察を受けてください。

11. 保管

- ①直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
- ②子供の手の届かないところに保管してください。

12. 廃棄方法

中身を使いきってから廃棄してください。廃液・汚泥等は関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。